

第48回赤レンガフォーラムを開催しました！

第1部 特別講演

「生物農薬・特定農薬の利用技術－総合的有害生物管理（IPM）を通じて「農薬」を考える－」

講師：吉田 裕一先生 放送大学岡山学習センター客員教授・岡山大学特任教授 専門分野：野菜園芸学

第2部 学生発表 一稲垣ゼミ 微生物、発酵食品、ビタミンに関する学生発表－

「光合成する原核微生物、シアノバクテリアとは？」放送大学全科履修生 人間と文化コース 田畑 美和子氏

「先史時代から愛された食べ物ヨーグルトの魅力」放送大学全科履修生 自然と環境コース 永瀬 洋子氏

「ビタミンD知られざるその実力」放送大学全科履修生 自然と環境コース 山下 明美氏

実施日：2026年2月21日(土) 13：30～16：45

会場：放送大学岡山学習センター（会場：第2講義室）

放送大学岡山学習センターでは、学生と教職員の相互の学びのための一般公開フォーラム第48回赤レンガフォーラムを開催しました。第1部は、放送大学岡山学習センター客員教授吉田 裕一先生による特別講演。第2部は、放送大学 教養学部 全科履修生3名による、学生のゼミの発表を行いました。多数の皆さまに参加いただきました。ありがとうございました！

第1部【特別講演】13：40～15：20

「生物農薬・特定農薬の利用技術－総合的有害生物管理（IPM）を通じて「農薬」を考える－」

吉田 裕一（よしだ ゆういち）先生

専門分野：野菜園芸学

放送大学岡山学習センター教授・

岡山大学特任教授



IPM（総合的病害虫・雑草管理）という考え方を中心に、農薬の役割と農業の現状について包括的にご講演いただきました。

はじめに、IPMの定義について、病害虫・雑草の発生増加を抑えるための適切な手段を総合的に講じるものであり、主に人の健康に対するリスクと環境への負荷を軽減することおよび生態系の攪乱を可能な限り抑制することが目的であるとの説明がありました。

次に、生物農薬と特定農薬の定義について述べられ、化学農薬に頼りすぎた農業では、薬剤耐性のある害虫等の発生、農業従事者の健康被害等の深刻な問題が起きたことから生物農薬や特定農薬が注目されるようになったこと、2002年に中国産冷凍野菜からの農薬検出や無登録農薬の国内での流通・使用の問題から、農薬の安全性の向上のための農薬登録制度への改善やより効率的な農業に資するための農薬に係る規制の合理化が行われたことの説明がありました。

最後に、生物農薬についてアブラムシとテントウムシの捕食関係を利用したナス・キュウリのソルゴー囲い込み栽培を挙げられたうえで、現在の農業では化学農薬のみではコントロールできず、天敵等の力を借りることが不可欠であること、このことを家庭菜園に当てはめれば混植栽培等が有効であること、そして、同一のものを繰り返し散布しても害虫等に抵抗性が生じないなど生物農薬のメリットについてもご解説いただき、「IPM（総合防除）」の意義について会場全体で学びを深めることができました。

第2部【学生発表①】 15:30～15:50

「 光合成する原核微生物、シアノバクテリアとは? 」

田畑 美和子 氏 教養学部 全科履修生 人間と文化コース在学中
微生物に関するゼミの内容等を発表されました。

第2部【学生発表②】 15:50～16:10

「 先史時代から愛された食べ物ヨーグルトの魅力 」

永瀬 洋子 氏 教養学部 全科履修生 自然と環境コース在学中
発酵食品に関するゼミの内容等を発表されました。

第2部【学生発表③】 16:10～16:30

「 ビタミンD知られざるその実力 」

山下 明美 氏 教養学部 全科履修生 自然と環境コース在学中
ビタミンに関するゼミの内容等を発表されました。



参加された皆様の声

当日参加いただいた皆さまより、多くのお声を頂戴しましたので一部を紹介いたします。

- ・ 農薬にまつわる知識（仕組み、農薬取締法、病虫害対策等）を色々学び、考え方の糸口をつかみました。
- ・ 農薬は身体に悪いと先入観で考えるのは良くないと分かりました。色々な研究からの視点で、農薬を考えることが大切だと思いました。
- ・ 薬剤ではなく、天敵農薬として利用するというお話など、昔の薬剤のイメージが強かったけど、面白く聴くことができました。
- ・ 学生発表は三者とも理解しやすくまとめられており、生活に役立つ化学で、化学がより身近に感じることができました。
- ・ 身近な事柄を題材を深掘りしてくださった内容で、とても理解しやすかったです。
- ・ 普段何気なく見過ごしていることが多いと感じさせられる内容で、自己啓発につながると思いました。また日常生活で活用したいと思いました。

次回の赤レンガフォーラムについて

第49回赤レンガフォーラム

実施日：2026年8月8日(土) 13:30～16:35

会場：放送大学岡山学習センター 6階 講義室

参加無料・申込先着順

第1部 特別講演「ニワトリの生物学から日本における文化的位置づけの変遷」講師：齋藤 昇 先生

放送大学岡山学習センター客員客員教授・岡山大学名誉教授 専門分野：動物生理学

第2部 学生発表「一卒業研究を振り返って一詩人 永瀬清子の実生活と詩精神」

放送大学 全科履修生 生活と福祉コース 山本 幸子 氏

※詳細が決まりましたら、システムWAKABA学内連絡、岡山学習センターウェブサイト、館内掲示、まなび一通信等にてお知らせいたします。放送大学生も一般の方も参加いただけます。ぜひ周囲の方を誘ってご参加ください!!

